

2013 年植林作業報告

以下のように、植林作業を実施したことを報告します。

1. 植林作業実施概況

植林 実施日	春季	植林作業・・・・・・・・・・5月12日～18日 (新規植林) 約 75ha			
	秋季	植林作業・・・・・・・・・・9月21日～23日 (新規植林) 約 18ha (再植林) 春季植林箇所での活着不良箇所			
植林場所	モンゴル国セレンゲ県 アルタンボラグ村ゴロワンツァガートルゴイ周辺				
出資者	委託企業	トライウォール株式会社／エコフィン生命の森			
	寄付支援 企業・団体	株式会社 KSG インターナショナル／GNC 共存の森			
		SOTO 禅インターナショナル／GNC 共存の森			
		ラウル株式会社／GNC 共存の森			
		エコフィン特約店葬儀社／生命の森			
		公益社団法人国土緑化推進機構緑の募金／日・モ友好の森			
		グリムプロジェクトチーム／GNC 共存の森			
		NPO 法人 MERRY PROJECT／GNC 共存の森			
株式会社アールキューブ／GNC 共存の森					
植林実施者	GNC Japan				
植林本数 ・面積	計	予定	実績		繰越 なし
		約 238,232 本 (約 93ha)	春季	秋季	
			約 193,232 本 (約 75ha)	約 45,000 本 (約 18ha)	
計 約 238,232 本 (約 93ha)					
樹種	ヨーロッパアカマツ <i>Pinus sylvestris</i> (在来種) の2年生苗 シベリアカラマツ <i>Larix sibirica</i> (在来種) の2年生苗				
植林作業	アルタンツェツェグ (セレンゲ県ボゴントグループ) トゥメンナサン (セレンゲ県森林局職員) ツォグトサイハン (GNC Mongolia スタッフ) 尾上 崇 (GNC Japan スタッフ) ボゴント村の村民など約 15 名他				

2. 植林時の作業写真

【2013年春季植林状況】



写真 1. 植林時の状況



写真 2. 植林時の状況



写真 3. 植林時の状況



写真 4. 植林時の状況



写真 5. 春季植林時の集合写真

【2013 年秋季植林状況】



写真 6. 植林時の状況



写真 7. 植林時の状況



写真 8. 植林時の状況

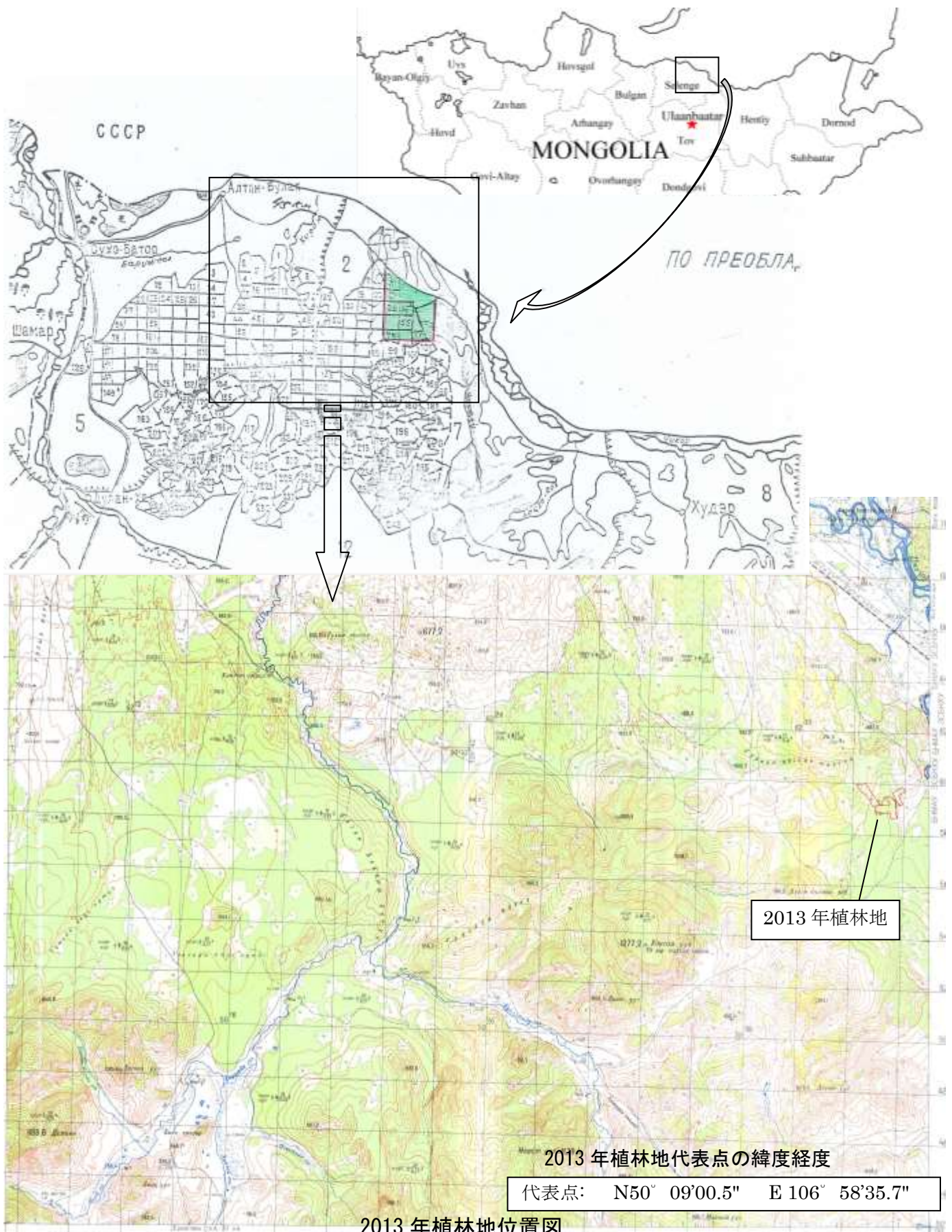


写真 9. 植林時の状況



写真 10. 秋季植林時の集合写真

3. 植林箇所位置図



4. 2012年植林の概況報告

4-1. 春季植林時の状況

2013 植林地はアルタンボラグ村ゴロワンツァガントルゴイ周辺に位置する。ゴロワンツァガントルゴイ周辺では 1996 年の火災跡地であるがまだ手つかずのまま植林が行われていない場所の一つである。中にはまとまった樹林が残ってはいるものの、植生の草地化が進んできている。

植林地では家畜の放牧は全く行われておらず、居住者もいない。土壌は砂質で褐色、植生はイネ科やキク科の下層植生でシラカバの初期遷移植生が所々にパッチ状に見られる。速やかな植林による木本植生被覆が望まれる。右に植林時の状況写真を示す。

植林に用いた苗は、セレンゲ県ボゴント村の苗畑で育てられたアカマツ苗を使用し、青々として良好な苗であり、植え付け時も初期乾燥リスク対策として持ち運びにビニール袋を使う等活着率の向上を図った。

春季植林では予定 93ha の内 75ha の植林が完了した。



苗の仮保存状況
(2013年5月12日撮影)



植林前の溝掘り状況
(2013年5月12日撮影)



植林時の状況 (2013年5月13日撮影)



苗木の状況 (2012年8月撮影)

4-2. 秋季植林時の状況

2013年秋季は春季の残り18haについて植林を実施した。また、春季に活着が不良であった箇所についても合わせて再植林を行った。

苗木は苗畑から掘取った直後に根元に泥を被せ乾燥害を防ぐ対策を行った。また、植林時の持ち運びも苗袋を使用し極力乾燥害による活着不良を少なくした。

春季の植林直後から40日程無降雨が続いたため、良好な活着が危ぶまれた。しかし、トラクターによる溝掘りの直後に速やかに植林を行っ

たことや、苗木の仮保存など乾燥リスクに対処したことが功を奏し苗木活着率は90%以上と高いことが確認された。

5~6月の山火事危険期には山火事の発生及び延焼による被害が危惧されたが、アルタンボラグ村の火災対策が適切に行われたため、件数もわずか数件に止めることができた。通行車両を止めるための関所を設置し、注意喚起を行ったり、丘の上に初期消火隊を配置させたため抑止効果が出たものと思われる。

また、植林地全体の変遷と苗木の成長を把握を把握するため、定点観測調査と毎木成長量調査を行った。今後数年毎にモニタリング調査を実施し、植林地としての変化を追いかけることとする。



苗の仮保存状況
(2013年9月22日撮影)



春季植林の活着状況
(2013年9月22日撮影)



山火事危険期に使用する関所
(2013年9月22日撮影)



調査状況
(2013年9月22日撮影)

5. 2014 年植林予定地

2014 年も例年通り植林を実施する。場所はアルタンボラグ村に位置しトジーンナルス南西方向のイッヒゲルチョロート山の麓である。2014 年と 2015 年の植林はこの場所で植林を実施する予定である。



2014 年植林予定地写真



2014 年植林予定地写真



2014 年植林予定地写真